

西公民館

ミュージックナイター・盆踊り大会

「第24回ミュージックナイター・盆踊り大会」が8月11日（土）、松前小学校グラウンドで行われました。ふるさと意識の向上と住みよい地域づくりをめざして計画、実践されてきたこの行事も24回目の誕生日を迎えることができました。この大会の意義と歴史の重みを改めて感じています。

当日は、夕方から金魚すくい、ヨーヨーつり、おもちゃ、ポップコーン、おでんなどの夜店も出て大賑わい。

第1部は午後6時30分、マーチングバンドのファンファーレで開演の幕が切れて落とされました。夕空に鳴り響く義農太鼓、伊予万歳、マーチングバンドの演奏と、子どもたちの晴れ舞台です。住民の方々から大きな拍手が送られました。

第2部の「みんなで踊ろう盆踊り」は、子鬼トリオのテーマ。そして、新21世紀音頭、松前音頭の軽やかなリズムに合わせて、7つの分館の

▼夜空に響け!



入場です。社宅連の若さみながらのパワーに始まり、最後は民謡サークルを先頭にした演技力抜群の筒井分館でした。

それぞれの趣向をこらした小道具や衣装で各地域をアピールした、楽しい踊りの競演でした。いずれの連も共通してチームワークが良く、まとまったすばらしい踊りができていました。

仙波収入役をはじめ7名の方々の審査の結果、演技賞は筒井、熱演賞は北黒田、努力賞は新立、敢闘賞は南黒田、

▼わっしょい!わっしょい!



アイデア賞は本村、ユーモア賞は宗意原、協力賞は社宅連に決まりました。そして赤星教育長から表彰がありました。

和気あいあいの中、お互いの連帯感、協力感、友情などが育ち、住みよい地域づくりの輪が広まりました。

盛会のうちに幕を閉じることができました。松前小学校PTA、婦人会、老人会、分館の役員の方々、松前中学校PTA、交通安全協会、防犯相談員、愛護部、補導委員など大勢の方々のご支援のおかげと厚く感謝します。

保育シリーズ

地域とともに

つながりの中で育つ子どもたち

松前幼稚園教諭

鎌田 えみこ

本園は、松前小学校のすぐ近く、小学校のふれあい農園の目の前にあり、お兄さんお姉さんが、草をひいたり水をあげたりして育てている姿を目の当たりにすることができ

ます。「僕もあんなふうになりたいな。」自分たちの一歩先をいく小学生は、あこがれの存在であり、手の届きそうな身近な生活のモデルになっています。

そんな小学生と、近くの公園や浜辺、また、互いの場を行き来して一緒に遊ぶのが子どもたちは大好き。今年の夏は、小学校のプールで一年生の作ったいかだに乗せてもらって大歓声をあげました。「先生、僕らもこれ作る。」園に帰り、さつそくペットボトルや牛乳パックなどで自分たちのいかだを作った年長児。ひとしきり自分たちが遊ぶと、「小さい組さんも乗せてあげようや。」と年少児や年中児を誘いに行きました。「お姉ちゃんの手をもっとくけんね。」一年生に優しくかかわっても

らった心地よい経験。それを生かし、また取り込みながら生活を広げていく子どもたちです。

子どもは、様々なつながりの中で育ちます。また、「今・この時」をため込み、積み重ねながら成長していきます。幼稚園、小学校の教師は、こうしたつながりの中で育まれていくものを互いに見つめながら、話合いの場をもち、連携し合って交流活動を進めています。

「カメラがおったよ。」「ニンジン」の葉どうぞ。」と、園に足を運び声をかけてくださる方たち。「こんにちは。」と声をかけてくれる散歩中の保育園児。小学校だけでなく、地域のいろいろな方とも普段着の交流を深められたらなと思います。

教師が、園が、人と交わることを喜び、人の間で生きていることを感じる存在でありたい。その姿を見ながら、子どもたちは一日一日大きくなっているんですね。